

防災のワンポイント

大地震発生は「いつか」ではなく「今日」かもしれない

令和6年1月1日、石川県能登地方で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生し、那須町においても震度3を観測しました。いつ起きるかわからない災害に対して、日頃の備えが非常に重要です。

今回は「地震対策」をテーマに、地震発生時の対応や【状況別】安全確保のポイントなどをご紹介します。

◆ 地震発生時の対応

地震発生

揺れを感じる直前

揺れ発生

1~2分

3分

5分

10分~3日

緊急地震速報

- 最大震度5弱以上、または長周期地震動階級3以上を予想した場合に発表される
- 速報発表から強い揺れが来るまでは、数秒から数十秒と極めて短い時間
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがある

最初の大きな揺れは約1分間

- 周囲の状況に応じて、慌てずに身の安全を確保する

揺れがおさまったら…

- 火元を確認、出火していたら初期消火
- 一緒に住む家族の安全を確認する
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する
- 靴を履く

みんなの無事を確認&火災の発生を防ぐ

- 離れて住む家族の安全を確認する
- 隣近所の安全を確認し、必要に応じて協力する
- 漏電・ガス漏れに注意する

正しい情報を確認する

- テレビ・スマホ・ラジオなどから情報を収集する
- 避難時は原則徒歩で移動する
- デマに惑わされないようにする

協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水・食料は備蓄品でまかなう
- 壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する

◆ 【状況別】安全確保のポイント

屋内にいる場合

▶ 家の中

- ・ 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- ・ 火元の確認は速やかにする
- ・ 裸足で歩き回らないようにする

▶ 大規模店舗や集客施設にいるとき

- ・ つり下がっている照明などの下から避難する
- ・ 慌てて出口や階段に殺到しない

▶ エレベーターに乗っているとき

- ・ 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいる場合

▶ 路上

- ・ ブロック塀や自動販売機には近づかず、看板や窓ガラスなどの落下に注意する
- ・ 頭をカバンなどで保護する

▶ 車を運転中

- ・ 急ハンドルや急ブレーキをかけず、徐々に速度を落とす
- ・ 避難時は、キーは付けたまま、ドアロックもしない

▶ 山や崖付近にいるとき

- ・ 崖崩れや落石に注意し、できるだけその場から離れる

「令和6年能登半島地震」災害義援金を受け付けています

町では、この地震による被災者および被災地を支援するため、義援金を下記のとおり受け付けています。皆さまの温かいご支援とご協力をお願いいたします。

1. 受付期間 令和6年2月22日（木）まで
2. 義援金箱設置箇所 ①役場本庁舎②湯本支所③芦野支所④伊王野支所⑤文化センター⑥スポーツセンター⑦ゆめプラザ・那須⑧道の駅那須高原友愛の森⑨道の駅東山道伊王野⑩ワークベース那須

※義援金は、日本赤十字社栃木県支部を通じて、被災地へお届けします。

■問合せ 総務課危機管理係 ☎72-6901